

科目名	校外研修 4						年度	2025	
英語科目名	Off-campus Training 4						学期	前・後 期 区	
学科・学年	情報ビジネス科 2年次	必/選	選	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	浅野 聡司		教員の実務経験	有	実務経験の職種		サービス職 (ホテル宿泊業)		

**【科目の目的】**

この科目の目的は、学生が実際の現場での経験を通じて、新たな知識や視野を得るとともに、自己成長を促進し、広く見聞を広げることです。学生は最新ビジネス商品展示会や工場見学、地域の旧跡見学などの活動を通じて得た知識をまとめ、レポートなどの形で成果を報告します。

**【科目の概要】**

この科目では、学生は学内だけでなく学外での学習体験を通じて、新しい知識を得ることを目指します。最新ビジネス商品展示会や工場見学、文化遺産の見学などのさまざまな活動を通じて、自分の担当分野以外の知識を深め、見聞を広げます。学生は得た知識や経験をまとめて報告し、その成果を共有します。

**【到達目標】**

研修内容の理解と活用  
知識の実践への展開  
見聞の広がりや知識向上  
レポートの質と深さ  
コミュニケーション能力

**【授業の注意点】**

研修をより有意義なものとするため、積極的な参加姿勢(質問など)を重要視している。また、社会への移行を前提とした受講マナーで参加し、展示会・講習会中の私語や受講態度などには厳しく対応する。(詳しくは初回のガイダンスで説明する。)理由のない遅刻や欠席は認めない。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受講することができない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力
到達目標 A	研修先での内容を深く理解し、それを担当分野と結びつけて有益な知識を得る	研修先での内容を理解し、担当分野と関連づけて有益な知識を獲得する	研修先での内容を基本的に理解し、一般的な知識を得る	研修先での内容の理解に課題があり、担当分野との結びつけが不十分である	研修先での内容の理解が不足しており、獲得した知識を活かすことができていない
到達目標 B	研修先で得た知識や体験を実生活や学習に活かし、具体的な実践行動につなげる	研修先で得た知識や体験を学習に活かし、実践行動を示す	研修先で得た知識や体験を一部実生活や学習に活かし、その実践行動を示す	研修先で得た知識や体験を実践への展開において課題があり、具体的な実践行動が限定的である	研修先で得た知識や体験の実践への展開が不十分であり、その影響が限定的である
到達目標 C	研修先での見学や体験を通じて、自身の視野を広げ、新たな知識を獲得する	研修先での見学や体験により視野を広げ、新たな知識を得る	研修先での見学や体験を通じて一部視野を広げ、知識を得る	研修先での見学や体験において課題があり、視野の広がりや新たな知識の獲得が限定的である	研修先での見学や体験の効果が限定的であり、視野の広がりや新たな知識獲得が不十分である
到達目標 D	研修内容を適切に整理し、深い洞察と分析を含む質の高いレポートを作成する	研修内容を整理し、適切な洞察と分析を含むレポートを作成する	研修内容を基本的に整理し、一部洞察と分析を含むレポートを作成する	レポートの質や深さに課題があり、内容の整理や洞察、分析が不足している	レポートの質や深さが不十分であり、研修内容の整理や洞察、分析が欠如している

到達目標 E	研修先での体験や学びを適切に他者に伝え、意見交換やディスカッションに積極的に参加する	研修先での学びや体験を他者に伝え、意見交換やディスカッションに参加する	研修先での学びや体験を一部他者に伝え、意見交換やディスカッションに一部参加する	コミュニケーション能力に課題があり、研修内容や学びを適切に他者に伝えられない場合がある	コミュニケーション能力が不足しており、研修内容や学びを他者に適切に伝えられない可能性がある
-----------	--	-------------------------------------	---	---	---

【教科書】

【参考資料】  
事前に研修先情報として、資料を配布

【成績の評価方法・評価基準】  
レポート 50% 授業内容の理解度を確認するために実施する  
成果発表 50% 授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		校外研修 4			年度	2025	
英語表記		Off-campus Training 4			学期	前・後期区	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価	
1	ガイダンス	事前に準備しておくべきことを理解できる	1 イベント参加方法	イベントの趣旨、参加方法、参加態度について理解する	3		
			2 調査方法	必要な情報を得るための調査方法を身に着ける			
2	事前準備(1)	出展ブースについて調べ、疑問点を整理できる	1 出展ブース事前調査(1)	出展ブースの企業、製品について理解する	3		
			2 出展ブース事前調査(2)	出展ブースの企業、製品について疑問点を洗い出す			
3	事前準備(2)	出展ブースについて調べ、疑問点を整理できる	1 出展ブース事前調査(1)	出展ブースの企業、製品について理解する	3		
			2 出展ブース事前調査(2)	出展ブースの企業、製品について疑問点を洗い出す			
4	事前準備(3)	出展ブースについて調べ、疑問点を整理できる	1 出展ブース事前調査(1)	出展ブースの企業、製品について理解する	3		
			2 出展ブース事前調査(2)	出展ブースの企業、製品について疑問点を洗い出す			
5	企業説明へ参加(1)	説明を聞き、企業に伝わるように質問ができる	1 イベント参加(1)	社会人になる立場として適切な立居振舞ができる	3		
			2 イベント参加(2)	企業の説明を聞き、疑問点に関して質問することができる			
6	企業説明へ参加(2)	説明を聞き、企業に伝わるように質問ができる	1 イベント参加(1)	社会人になる立場として適切な立居振舞ができる	3		
			2 イベント参加(2)	企業の説明を聞き、疑問点に関して質問することができる			
7	企業説明へ参加(3)	説明を聞き、企業に伝わるように質問ができる	1 イベント参加(1)	社会人になる立場として適切な立居振舞ができる	3		
			2 イベント参加(2)	企業の説明を聞き、疑問点に関して質問することができる			
8	企業説明へ参加(4)	説明を聞き、企業に伝わるように質問ができる	1 イベント参加(1)	社会人になる立場として適切な立居振舞ができる	3		
			2 イベント参加(2)	企業の説明を聞き、疑問点に関して質問することができる			

9	企業説明へ参加 (5)	説明を聞き、企業に 伝わるように質問が できる	1	イベント参加(1)	社会人になる立場として適切な立居振舞ができる	3
			2	イベント参加(2)	企業の説明を聞き、疑問点に関して質問することができる	
10	企業説明へ参加 (6)	説明を聞き、企業に 伝わるように質問が できる	1	イベント参加(1)	社会人になる立場として適切な立居振舞ができる	3
			2	イベント参加(2)	企業の説明を聞き、疑問点に関して質問することができる	
11	企業説明へ参加 (7)	説明を聞き、企業に 伝わるように質問が できる	1	イベント参加(1)	社会人になる立場として適切な立居振舞ができる	3
			2	イベント参加(2)	企業の説明を聞き、疑問点に関して質問することができる	
12	企業説明へ参加 (8)	説明を聞き、企業に 伝わるように質問が できる	1	イベント参加(1)	社会人になる立場として適切な立居振舞ができる	3
			2	イベント参加(2)	企業の説明を聞き、疑問点に関して質問することができる	
13	資料作成・発表 (1)	校外研修の内容を資料に まとめ、発表する	1	報告作成方法	入手した情報を整理しまとめる力を身に着ける	3
			2	報告作成	入手した情報について体系的に整理し知識を定着させる	
			3	報告発表	入手した情報を他者に効果的に説明、発表できる	
14	資料作成・発表 (2)	校外研修の内容を資料に まとめ、発表する	1	報告作成方法	入手した情報を整理しまとめる力を身に着ける	3
			2	報告作成	入手した情報について体系的に整理し知識を定着させる	
			3	報告発表	入手した情報を他者に効果的に説明、発表できる	
15	資料作成・発表 (3)	校外研修の内容を資料に まとめ、発表する	1	報告作成方法	入手した情報を整理しまとめる力を身に着ける	3
			2	報告作成	入手した情報について体系的に整理し知識を定着させる	
			3	報告発表	入手した情報を他者に効果的に説明、発表できる	
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他						
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった						
備考 等						